

卷末資料③

「音楽科 授業実践 Q&A」

音楽科 授業実践 Q&A【器楽編①】

Question (疑問・質問)	Answer (回答)
○ 児童の実態に応じた曲目や楽器選定の目安になる楽器演奏の段階が知りたい。	○ 「特別支援学校指導要領解説 各教科等編 (小学部・中学部)」音楽の目標・内容 (P588～P593) の一覧を参照
○ 楽器演奏をするときの指導のポイントを聞きたい。 ○ リズムをとる指導で押さえるポイントを教えてほしい？ ○ 小学部3年生にリズム打ちを行う際、リズム符を用いて3拍子や4拍子などの拍子も抑えた方がよいのか、それとも、● (丸印) の大小などで、なんとなくリズムの感じを伝えつつ指導するくらいでよいのか。	○ 器楽合奏をする際には階名を使うことが必須なので、階名唱に親しんでおくことが大事。また、部分的に順次進行 (ドレミやソファミ等の階名順に演奏する) を取り入れたり、オブリガード (主旋律とは別の旋律) を作ったりして指導をする。 ○ 丸いシートを目の前に敷いておき、「1、2、3」の「1」の時にシートを踏むなど、拍の頭を感じることや体で拍子を感じとれる指導を行うとよい。また、リボンを使って身体表現を取り入れることも有効である。
○ 楽器の演奏に使える曲を探すのがむずかしい。探すポイントなど教えてほしい。	○ 小学校教科書に載っている楽曲を参考にするとよい。 ○ ノリのいい最近の音楽を取り入れたりするのもよい。 ○ 「この曲なんか好き!」「楽しそうな音楽、やりたいなあ。」などの思いがあると主体的に取り組むことができる。
○ 音楽室や音楽準備室にある楽器やCD、鑑賞教材で小学部の授業でも活用できるものがあれば紹介してほしい。	○ 音楽準備室にCDや鑑賞DVDがあり、貸し出し可能。(校内のみ) ○ 音楽室にあるギターは、子どもたちが喜ぶ楽器。弦が切れやすいが使用可能。(校内のみ)

音楽科 授業実践 Q&A【器楽編②】

Question (疑問・質問)	Answer (回答)
<p>○ 子供によって段階的に指導できる打楽器や歌唱などがあれば教えてもらいたい。</p>	<p>○ 打楽器演奏として (例1) 「ばすごっこ」 おとなりへ はい→はい!でタンバリンをたたく 1自分のタンバリン 2友達のタンバリン、、、 などと、することの難易度をあげていく。 (例2) 「まつぼっくり」 あったとさ→さ のところでソの音(ハンドベル、木琴、鉄琴など)を鳴らす。 など、子どもが集中して聴かないと出来ないようなものを、楽曲の中で取り上げる。</p>
<p>○ 小学部低学年の子どもたちが扱いやすい楽器はどんなものか知りたい。</p>	<p>○ ボディパーカッションは手軽な楽器として取り扱える。ブームワッカーはどこでたたいても音が出るので誰でも簡単に演奏ができる。 ○ ミュージックポンプやクリップヒットがおすすめ。</p>
<p>○ 和太鼓指導に適した、思わず曲に合わせて太鼓を叩きたくなるような曲を教えてください。</p>	<p>○ 「残響散歌」「ダイナマイト」「こころのはな」おすすめ。</p>

音楽科 授業実践 Q&A【鑑賞編】

Question (疑問・質問)	Answer (回答)
<p>○ 児童の実態差があり鑑賞の内容選択に悩みます。これを押さえればというポイントがあれば知りたい。</p>	<p>○ 小学校の教科書を参照。</p>

音楽科 授業実践 Q&A【歌唱編】

Question (疑問・質問)	Answer (回答)
○ 中学部や高等部になると、合唱合奏をする学習もあると思うので、小学部段階で、こんな学習に取り組んでほしい、身につけておいて欲しい力などがあれば、教えてほしい。	○ 小学部段階から身につけて欲しい力として、階名唱に親しんでおくことが大事。階名唱を行うことで、音程の感覚や楽譜を読む力を身につけることができる。また、体でリズムを感じ取る力も身につけて欲しい。
○ 実態が多様で発語がない児童への歌唱指導の評価はどのように行えばよいか？	○ 「特別支援学校指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）」音楽の目標・内容（P588～P593）の一覧を参照
○ コロナ感染予防対策で歌うことを避けているが、歌唱指導をどうしたらよいか？歌う以外のアイデア、ネタがほしい。	○ マスクをつけて2メートル離れての歌唱。 ○ 身体表現（ハンドサイン）、手話を取り入れる。

音楽科 授業実践 Q&A【ICT活用編】

Question (疑問・質問)	Answer (回答)
○ 音楽の教科学習の中で ICT を効果的に取り入れた授業の紹介 ○ 音楽の授業で ICT を活用されているか。また、音楽で活用されているアプリ等があったら教えてほしい。	○ Eテレ、ゆうがたクインテット、楽しいリズム遊び、あっこ先生の音楽教室（YouTube）を検索すると、教材のヒントになる。 ○ iPadに入っている、Garage Band。 → アコースティック（ドラム）は、ビートシーケンサーはバスドラムやスネア、シンバル、手拍子などのリズム楽器があり、タップした部分が自動的に再生されリズム創作をすることができる。 → 創作活動として、メロディやリズムを録音して音楽を作る機能もある。サウンドライブラリーのサウンドパックから、楽器をダウンロードすることもできる。

音楽科 授業実践 Q&A【発達段階編】

Question (疑問・質問)	Answer (回答)
○ 発達段階の違う子供たちにどの子供に重点をおいてし指導するのか、またはみんなができる授業をするべきなのか。	○ 取り扱う音楽は同じでも発達段階に応じてアプローチの仕方を変えていく。子どもの反応を丁寧にひろい、次の意欲につながる言葉掛けをしていく。
○ 小学部の重複学級在籍児童への音楽はどうしたらよいか？工夫やアイデアなどがいろいろ知りたい。	○ 身体表現でリトミックの中から、替え歌にしたり（かえるのうた、うっせいわのサビだけ、チューリップなど）して取り扱う。
○ 実態差がある学年での音楽の授業で指導の際に気をつけていることがあれば教えてほしい。	○ 子どものつまずきを想定して演奏を簡略化する。 ○ 子どもによって担当楽器が楽譜を作成し、個性を生かす。

音楽科 授業実践 Q&A【その他】

Question (疑問・質問)	Answer (回答)
○ 歌詞表など紙媒体使用のよい点や活用方法を知りたい。	○ 歌詞表を作るところから子どもと一緒にいき、歌詞のイメージをふくらませる。
○ 音楽づくりの指導方法を知りたい。	○ 授業前に音楽を流し（選曲は子どものリクエスト）、音楽を楽しむ雰囲気作りをする。 ○ 音楽やピアノの音で活動を区切り、動と静のメリハリを付ける。 ○ 子どもの実態や雰囲気テーマ（例：平和）を決め、それにそって取り扱う楽曲を選んでいく。 ○ 子ども同士の学び合いを大切にする。 ○ 「小さなできる」を積み重ねることで自信をもたせる。
○ 教材の選び方	○ グッツも、かぶり物、リボン、色、布、香りのするもの、光など同じ曲でも、使う教材を替えたりする。